

学校だより 「'10まかべ」

第16号

2010(平成22)年9月3日

糸満市立真壁小学校

夏休みが終わり、2学期が始まりました。児童は長い休みを経ておそらく誰もが、「2学期は、〇〇を頑張るぞ！」等と、それぞれに決意を秘めて登校してきています。例えめあては明確でなくとも「向上するぞ！」という思いは、必ず持っているものです。そのような、児童の向上心を受け止めることの出来る学校でありたいと考えています。

始業式で体育館に集まった児童らの表情は、「もっと向上したい！」という意欲を前面に出そうとしているかのように、生き生きと輝いています。始業式の様子をお知らせします。



「元気な笑顔で、始業式に臨む児童」→

2学期始業式を行いました。9/1(水)

「あいさつを良くしたい」「言葉遣いを良くしたい」

(児童の「2学期に頑張りたいこと」発表より)



■ 夏休みで楽しかったことは、お母さんと映画を見に行ったことです。

■ 1学期はあいさつが苦手だったので、2学期は自分から進んであいさつをするよう、頑張りたいです。(2年 きなみさと)

朝のあいさつや食事の際のあいさつは、とても短い言葉です。でも、たくさんのメッセージを周りに伝えていきます。例えば、「今日も一日、貴方と仲よく過ごしたいですよ」「貴方と一緒に食事するのが嬉しいです。」等です。そんなメッセージを自分から進んで与えたいという、すばらしいめあてです。

2学期のめあては3つあります。

- ① 運動会でのエイサーは、動作を大きく、運動会のトリとしてかっこよく踊ります。
- ② 友達に悪い言葉遣いをすると自分が嫌になったり、相手を嫌な気分させたりします。だから言葉遣いを良くしたいです。
- ③ 学級役員になりたいです。(5年 大城みお)

高学年生としての成長を十分に感じさせるめあてです。エイサーの踊り方を通して「もっと成長したい自分」を見つけていくのが伝わってきます。それは、言葉遣いという内面的な成長の欲求についても言えます。あらゆる場面で活躍の場を見つけていきそうです。自分の力を引き出し、発見したりするような支援が出来るといいなと思います。



学級担任と保護者との個人面談 — 及び児童の補習学習を実施 8/2~6

補習学習は、強制でなく児童の希望で実施されています。中には、担任から促された児童も居ますが、夏休みの中間地点で登校するにはそれなりの意欲を秘めていたと確信しています(左写真)。

指導については、本校職員と保護者のボランティアが協力してあたりました。特に保護者の皆さんには、忙しい中での骨折りに感謝するばかりです。

【お知らせ3題】

(1) 仲里紀子教諭が、特別支援学級担任として着任

「はじめまして。大城栄先生に替わって特別支援学級の担任をします。『いつもニコニコ生懸命!』をモットーに日々楽天的に生活しています。趣味は読書、食べ歩き。夢はピアノと琉球舞踊の習得です。

初めて真壁っ子に出会った始業式、笑顔であいさつするさわやかな姿、人の話を心で聞く真剣な表情、進んで働くキラリと光る汗、校庭いっぱい真壁っ子のすてきな姿があふれていました。毎日子どもたちに会いに学校に来るのが楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。(仲里紀子)

(2) 金城沙紀さん(新垣出身 沖縄女子短期大学2年)が教育実習を開始

「はじめまして。9月1日から約1ヶ月間、3年1組の宮城美子先生のもとで教育実習を受けさせてもらうことになりました。初めての経験だらけで不安や緊張などの気持ちでいっぱいですが、児童のみなさんの笑顔や元気さに後押しされてがんばれます。

私の母校でもある真壁小学校で教育実習を受けることが出来ることに感謝します。短い期間ではありますが、子どもたちと共に日々成長できるよう誠心誠意がんばりますので、よろしくお願いいたします。(金城沙紀)

(3) 授業参観日と教育講演会、夏休み作品展を実施します。

9日(木)は、授業参観日及び教育講演会、夏休み作品展を実施します。教育講演会は、糸満市立中央図書館の照屋優子・張本名月司書を講師に招き、子どもを読書好きにさせるために「読書への誘い」のテーマでお話をさせていただく予定です。(詳しくは裏面に)

